

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターつばさ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和6年12月16日		令和6年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【本人支援(通所支援)】 ・実施地域は福井県全域である ・主として就学前の、上肢、下肢または、体幹の機能に障害のある肢体不自由児および重症心身障害児、発達障害の特性をもつ児童を対象としている ・親子通所による小集団療育を行っている ・専門的支援を実施できる職員を常勤専従で配置している	・基準人員に加え、実務経験のある保育士を配置し、専門的支援計画を作成し、支援を行っている ・管理栄養士による献立の提供や食事への助言・指導の下、栄養の状態や心身の発達に必要な支援を提供している	・原則週2回の親子通所による小集団療育の形態としているが、プログラム内容による個性性を考慮した多様な通所形態についても検討をする
2	【家族支援】 ・親子通所で支援を行っており、子育てサポートを行っている	・親子通所により、保護者に支援場面への参加を通じて、直接支援を行っている ・保護者同士のつながり作りや情報交換の機会の提供を行っている 保護者学習会(年間20回程度) ペアレント・プログラム 保護者向け子育て講座(子育てのコツ・ほめるコツ等)	・講座等の情報を発信できるSNS等、ICTの活用ができる事項について導入をすすめる
3	【地域支援・地域連携】 ・本人かかりつけの医療機関や、併用利用の幼稚園/こども園/保育園/事業所等と連携のとれた療育を実施している ・地域の支援者向けの支援として、講座や実務研修を行っている	・併用園等への訪問や支援連絡帳での情報連携の実施 ・小児療育を担当している職員の研修受け入れ ・地域の園や児童発達支援事業所、行政からの見学、関係学科の学生の実習の受け入れ ・地域の支援者を対象とした「小児療育担当職員実務研修」の実施 ・園、学校などの支援者の方向けに、出張型の講座	・インクルージョンの推進に向けて、地域支援体制整備におけるサポート等、こども療育センター全体で実施できるよう、地域支援内容の充実を目指す

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・難聴児に特化した専門的支援を実施していない	・難聴児に特化した専門的支援計画が作成しにくい ・移行支援に向けた体制整備が必要	・協力医療機関の言語聴覚士や関係機関と連携をとり、支援体制を検討し、児童発達支援センターで実施する支援内容を検討する
2	・令和6年度、保護者へのオンラインでの相談援助や、関係機関とのオンライン会議での個別支援を実施していない	・オンラインで対応する体制はあるが、希望がなかった	・希望があった際には、オンラインでの対応をする
3			